

時 代 言 語
孔子は「過ちて改めざる是れ過ちなり」と自己を戒め人をも諭したのである。彼のフランク林も反省十二戒を以て自己の圓溝を期したのである總て偉人高徳の名を世に馳せたものは皆改過々省徳を積んで始めて修養し得て漸次完成の域を達したのに外

秋の、霜がふるころんな
と、ばさつかん中に、眞
な、あますつぱい、よし
みがなつた。小雀だの四
雀だのが、それを食ひに
て、チツチ、チツチ、な
まづが、うようよ動いて
てる。おれらも、それを
ひにく。
ぢぞうさま、ぢぞうさま
らにも、よしそみわけ
おくんなんしょ』
おれらは、手を合はせて
ぞうさまおがんでから、
サガサ、藏んなかさよし
大川さ、河原ぐみなんざ
取りいつて、日が暮れてか
ら歸つてくる。さんたろ
の、土橋んとこまでくる
の、宿の灯が、崖にかくれて、
愈にまづくらんつたや。

『また、どつかで赤ん坊になくなつたんだな』
おれらは、そんなことを云ひながら、白いまだがけをふりかへり、ふりかへり、
崩をとほつて行く。
かすりの着物きて、赤い
ひこびなんぞ、しめてたことある。そんなときぢをつさまは、とてもかはいげに見えた。けれど、着物はいつのまにか、誰かが持つて行つちやつて、つぎに見つてゐた。

○山惣の蜜柑を守りてくつつて、
○みんなへひらくる相模
○冬を枯れぬしやがの一群を
○よき^日の垣に沿ひたる水路
○冬山のともしきみづや落葉
○柴負ひて荒うら下る里人か

(上) ごんたる淵のそばの、藪つかん中に、ぢぞうさまが立つてゐた。鼻ツかけぢぞうさまだ。
いつか、大風んときぶつころがつて首がとれた。それをだれかがおこしてのつけてやつたが、そんときからすこし横つちよびきんなつた。鼻もそんときかけたのかも知んね。
だれがかけてやんだか、いつも、よだがけ、何枚もかけてる。ときどき新しゆ
ごんたる淵は、水草がつばいしげつてゐた。この草のあひだから黒い水がろんと見えてゐた。一悉
いとこは、大人でもせがたないと云はれてゐた。大水んとき、宿の六ど
が、たらひさ入れてしつかめたが、六ちいは、『こんなにや、うなぎのまがるやうな鮎を、六
つかけた。六ちいは、と云つた。おれらは、きどき崖づらの草につるがつけた。』

A decorative vertical border with horizontal stripes and floral patterns. At the top, there are four large characters: 刊夕年一月.

吟 島 田 忠 夫
音別莊に遊びて
さあへる籠の小村梅さかり過ぎ
民國最初の歳出入公開議
入四億三千餘元(昭和五
度問題妥協成立、ガンヂ
の海は見ゆなぞへの間に海は黄ばみ
めをあなし懸樋の水のしたたり半く
平小屋樋よりあふるる水音きこゆ
らはそる籠の飛沫に帆をぬらせり
山の小籠に柴觸る音す
惟生せきれい去りて葉なのこせし
木もぎのこされし質は萎んでる
とほに海のこゝえで五位駕のこゑ
得て二月さむき月にあひにき
一氏總督會見△濠洲聯邦
のスカリーン内閣一部改造
首相兼攝の藏相の椅子を
オドア氏に與ふ(昭和六)
講 談

春
「然う、お勘さんは牛込の徳岡の妻に暫くなつてゐた」若「それぢやアね真ツ直に小半町計り行くと左に草鞋を釣るした俵菓子店がある其筋向ふの廣い路次……路次と云つたところで、其の中には一軒しか家はない、それが並木さんだ」喜「若い衆さんどうも有難う、多分お前さんの家から仕出し物が入るのだらうが、近頃彼の家へ来た客が来る様子があるまいかね、仕出し物の具合で大概は判るだらうと思ふが」若「仕出しは毎日入りますよ、お客様の來ることもたまにはあるがね」喜「イエ五六日此の方潜在のお客なさ」若「何うも判りませんなア」喜「全體家は幾人暮しなのでせうか！」若「女中一人に猫一匹と云つた氣樂な家なのです、夫れでお金はドント有るそうだ、随分贅澤なやうで！」と若い衆はベラ～
喋つてゐると、帳場の中に意地悪そうな眼を光らしてゐた、お神さんらしいのが女『オイ～』安早く洗ッちまいか、今に夕河岸が來るよ

と間誤つくぢやアないか』ととがつた聲で叱る、夫れを沙にして喜太郎は教へられた通りに來て見ると直に足幅もある道、突當りに門判つた、路次と云つても九ヶあつて柴垣がグツと巡らしてあります、入口には格子戸が光り、見越しの松があつてゐる、却々意氣な住居だ

花環の御用命は

新らしく安い！

橋本屋造花店

平新川町（電一六三）

△一〇、三〇A 家庭講座（お雛様の俳句）柳山桜月△正午 A 時報△後〇、〇五A 筋前琵琶△〇、四〇A ニュース 気象通報 告知事項△二、〇〇A 婦人講座（政治と婦人生活）市川房枝△三、四〇A 氣象通報△四、〇〇A ニュース△五、三五 エスペラント講座（世界に於けるエスペラントの現状）中村義蔵△六、三〇A 英語講座（中等科）ジョンカメロン童話劇（お人形の退院）金の鈴兒童劇團△七、〇〇A ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告△七、三〇A 時事講座（蒲の織物資源）前瀬鐵治質調査所長理學博士村上飯藏△八、〇〇A 常磐津（初戀千種濡事）三味線・市松上調子・梅壽郎△八、四〇A 等曲△九、三〇A 時報△九、三〇〇 奉天より（滿蒙問題に就て）關東軍參謀松井歩兵中佐△九、四〇A ニュース 氣象通報 番組豫告 積雪量塵もぢや富士山ほどに掛けた金が山になる△九、〇〇A 氣象通報

他國人の住宅ある故
無茶な射撃も出來ぬ
ハ市入城前の細心な注意

本社の慰問に對する謝狀一束
平町出身 井上榮市君

平町出身 井上榮市君

126

軍事講話を催すべく講師の

派遣方に就き其筋と交渉中

である

第三小學で

平第一小學

記念の催し

元教へ子の清野會長宛通信

高橋正一君より

小

殿落成祝として五日午前九時から學藝會五、六兩日展覽會を開催する

では御真影下賜記念並奉安

では來十日の陸軍記念日に

軍事講話を催すべく講師の

派遣方に就き其筋と交渉中

である

第三小學で

平第一小學

記念の催し

元教へ子の清野會長宛通信

高橋正一君より

小

殿落成祝として五日午前九時から學藝會五、六兩日展覽會を開催する

では御真影下賜記念並奉安

では來十日の陸軍記念日に

軍事講話を催すべく講師の

派遣方に就き其筋と交渉中

である

第三小學で

平第一小學

記念の催し

元教へ子の清野會長宛通信

高橋正一君より

小

殿落成祝として五日午前九時から學藝會五、六兩日展覽會を開催する

では御真影下賜記念並奉安

では來十日の陸軍記念日に

軍事講話を催すべく講師の

派遣方に就き其筋と交渉中

である

第三小學で

平第一小學

記念の催し

元教へ子の清野會長宛通信

高橋正一君より

小

殿落成祝として五日午前九時から學藝會五、六兩日展覽會を開催する

では御真影下賜記念並奉安

では來十日の陸軍記念日に

軍事講話を催すべく講師の

派遣方に就き其筋と交渉中

である

第三小學で

平第一小學

記念の催し

元教へ子の清野會長宛通信

高橋正一君より

小

殿落成祝として五日午前九時から學藝會五、六兩日展覽會を開催する

では御真影下賜記念並奉安

では來十日の陸軍記念日に

軍事講話を催すべく講師の

派遣方に就き其筋と交渉中

である

第三小學で

平第一小學

記念の催し

元教へ子の清野會長宛通信

高橋正一君より

小

殿落成祝として五日午前九時から學藝會五、六兩日展覽會を開催する

では御真影下賜記念並奉安

では來十日の陸軍記念日に

軍事講話を催すべく講師の

派遣方に就き其筋と交渉中

である

第三小學で

平第一小學

記念の催し

元教へ子の清野會長宛通信

高橋正一君より

小

殿落成祝として五日午前九時から學藝會五、六兩日展覽會を開催する

では御真影下賜記念並奉安

では來十日の陸軍記念日に

軍事講話を催すべく講師の

派遣方に就き其筋と交渉中

である

第三小學で

平第一小學

記念の催し

元教へ子の清野會長宛通信

高橋正一君より

小

殿落成祝として五日午前九時から學藝會五、六兩日展覽會を開催する

では御真影下賜記念並奉安

では來十日の陸軍記念日に

軍事講話を催すべく講師の

派遣方に就き其筋と交渉中

である

第三小學で

平第一小學

記念の催し

元教へ子の清野會長宛通信

高橋正一君より

小

殿落成祝として五日午前九時から學藝會五、六兩日展覽會を開催する

では御真影下賜記念並奉安

では來十日の陸軍記念日に

軍事講話を催すべく講師の

派遣方に就き其筋と交渉中

である

第三小學で

平第一小學

記念の催し

元教へ子の清野會長宛通信

高橋正一君より

小

殿落成祝として五日午前九時から學藝會五、六兩日展覽會を開催する

では御真影下賜記念並奉安

では來十日の陸軍記念日に

軍事講話を催すべく講師の

派遣方に就き其筋と交渉中

である

第三小學で

平第一小學

記念の催し

元教へ子の清野會長宛通信

高橋正一君より

小

殿落成祝として五日午前九時から學藝會五、六兩日展覽會を開催する

では御真影下賜記念並奉安

では來十日の陸軍記念日に

軍事講話を催すべく講師の

派遣方に就き其筋と交渉中

である

第三小學で

平第一小學

記念の催し

元教へ子の清野會長宛通信

高橋正一君より

小

殿落成祝として五日午前九時から學藝會五、六兩日展覽會を開催する

では御真影下賜記念並奉安

では來十日の陸軍記念日に

軍事講話を催すべく講師の

派遣方に就き其筋と交渉中

である

第三小學で

平第一小學

記念の催し

元教へ子の清野會長宛通信

高橋正一君より

小

殿落成祝として五日午前九時から學藝會五、六兩日展覽會を開催する

では御真影下賜記念並奉安

では來十日の陸軍記念日に

軍事講話を催すべく講師の

派遣方に就き其筋と交渉中

である

第三小學で

平第一小學

記念の催し

元教へ子の清野會長宛通信

高橋正一君より

小

殿落成祝として五日午前九時から學藝會五、六兩日展覽會を開催する

では御真影下賜記念並奉安

では來十日の陸軍記念日に

軍事講話を催すべく講師の